

「第65回合同うんどう会」

大阪市立住吉第一中学校 久利 謙太

6月1日(水)長居第2陸上競技場にて第65回合同うんどう会が開催されました。当日は晴天にも恵まれ、参加校39校、参加生徒218名で待ちに待ったこの日を無事迎えることができました。朝の開門と同時に元気な子どもたちが続々と入場してきました。受付を終えるとまず目に飛び込んできたのは競技場です。その施設の広さと環境に驚きと胸の高鳴りを抑えきれない様子でした。競技場の観覧席へ移動し荷物をまとめ準備をし、いざフィールドへ。

いよいよ開会式の始まりです。放送担当の生徒がアナウンスをしスムーズに行われました。慣れない音響設備を使いフィールドに響き渡る音楽で元気いっぱいの体操が行われました。

第一種目はロープリレーです。グループごとに一本のロープを持ってリレーします。呼吸を合わせ、ロープで繋がった友達と走り、他の生徒とぶつからないよう注意をしながら一生懸命に取り組んでいました。

第二種目は50M走です。よいいどんの合図で前だけを向いて全力疾走していました。ゴールした生徒たちの表情には喜びや悔しさが滲んでいました。

第三種目は選択なわとび走です。各自練習してきたこともあり、自信に満ち溢れた様子でレースに挑み、驚異のスピードで独走する生徒もいました。

第四種目は選択バスケットドリブルです。ボールを器用に扱いながらコーンを回り、ゴールに向かって必死な姿が見られました。中にはうまくコントロールできずコースアウトする生徒もいました。

第五種目は選択おぼんレースです。おぼんにテニスボールを乗せ、慎重にコースを回ります。スピードだけでなく巧みなおぼんさばきがカギを握りました。

第六種目は大玉ころがしです。大きなボールを力いっぱい転がしリレーをします。ボールに巻き込まれないように注意を払いながら懸命に取り組む大盛り上がりでした。

第七種目はトラック一周です。学校のグラウンドでは味わえない400メートルのトラックを完走目指して走ります。ペース配分が難しくヘトヘトになりながら走り抜け、たくさんの生徒がゴールテープをきることができました。

第八種目はダンスです。リズムに乗りながら楽しく取り組んでいました。

最後の閉会式では素早く整列ができ、今日一日の活動を振り返りながらしっかりと話を聞いていました。また来年も参加したいという生徒がたくさんいました。昼食後、スタンプラリーに参加する生徒、広場で他校の生徒と楽しそうに交流する姿が見られました。全力で競技に参加し、普段とまた違った環境で有意義な充実した一日となりました。

第65回 合同うんどう会 アンケート

回答数31

① 実施時期について(6月1日)〈適当30、不適当1〉

- ・翌日が中間テストでタイミングが良くなかった。
- ・天候も良く、気温もそこまで高くなかったので良かったと思います。
- ・学校行事と被らず、気温も暑すぎない。
- ・学校行事と重なるのを気にすると開催できないので、5月の最終週あたりが妥当だと思う。
- ・気温も少し高く、丁度いいと思います。
- ・気温がすごく適していた。
- ・暑すぎず、丁度いいと思います。
- ・暑かったですが、この時期が適当だと思います。

- ・気温も暑すぎず、運動しやすい時期だと思います。
- ・暑すぎず、寒すぎないから。
- ・当日は気温が高くなりましたが、例年の気候だとベストだと思います。
- ・真夏ではなく、少し涼しい環境だった。
- ・雨も降らず、気候に恵まれた日で良かった。
- ・学校行事的にも何も無い時期で良かった。
- ・暑くなる前で良かった。
- ・空調のことや予備の水分の準備もありがとうございました。
- ・体育大会前ではあったが、今回の参加で自信がついたと言っていた。

② 場所について【ヤンマーフィールド長居（長居第2陸上競技場）】〈適当31、不適当0〉

- ・人数が多くても、対応できる施設なので、とても良かったと思います。
- ・環境的に素晴らしく、ありがたいです。芝に入ることができたら、さらに良かったと思いました。
- ・とても広く、コロナ対策もばっちりできていたと思います。
- ・走る種目では、生徒たちがとても走りやすいと言っていました。
- ・なかなか大きな会場で体を動かすことができないので、貴重な経験ができてよいと思う。
- ・広くて、沢山の学校が集まっても密になりにくいから。
- ・とても広い会場で、普段なかなか使用できるような場所ではなかったので、生徒は大喜びでした。
- ・良い環境で生徒が走ったり、体を動かして良かったと思います。
- ・駅からも、競技場内も適当だと思います。
- ・支援の生徒は普段使用する機会がないため、「長居競技場走ったで！！」と誇れるものになると思う。
- ・陸上競技場のトラックで走れるのは生徒は嬉しいと思います。
- ・学校のグラウンドとは違う環境なので良いと思います。
- ・普段はいることがない陸上競技場を見て、生徒も喜んでいた。
- ・とても広く密にならなかったのが良かったですが、カラスが生徒に威嚇していたので、少し危険かなとも思いました。

③ 時間について〈適当29、不適当2〉

- ・もう少し早く昼食を取りたかった。
- ・競技が連続で大変だった。
- ・実行委員の集合時間を30分程遅らせても間に合うと思った。
- ・ちょうど良く、長くも短くもなかったと思います。
- ・間が空きすぎず、無理のないペースだと思いました。
- ・午後に自由時間があるのも、生徒から好評でした。
- ・遠い学校からでも余裕を見て行動できました。
- ・早すぎず、遅すぎずだと思いました。
- ・競技種目が午前だけの短期集中で、午後からは自由に遊べて生徒たちに適していると思う。
- ・食事の時間はもう少し早くてもいいかなと感じました。
- ・朝から行うことで、沢山のプログラムができる。
- ・昼からは時間の中で自由に動いて良かったです。
- ・朝、早すぎることなく、普段学校へ登校している時間で十分間に合うため良かったと思います。

④ 種目について〈適当29、不適当2〉

- ・大玉転がしで何人が転んでおり、怪我が心配されることがあったので、可能なら別案にしても良いのではないかと思います。
- ・「ロープリレー」を「ロープ競争」にした方がいいと思う。リレーだと個人差が大きく影響するので。
- ・生徒が楽しめるものだったと思います。
- ・走る種目から、走るのが苦手な生徒でもできる大玉転がしやダンスなどの種目があり、生徒全員が参加できたので良かったです。
- ・たくさん種目があって運動量が多くて良いが、出場種目を3つまでにするなどをして応援をさせても

良いかと思います。

- ・生徒全員が参加できる種目ばかりで楽しめた。
- ・ほとんどの種目は全く問題なかったかと思いますが、大玉転がしで1名乗り上がって転倒していた生徒を見かけ、転がし方を説明していただいていたのですが、1コースずつ両スタート位置に大人が立ちスタートするときに個々の声かけがあるとより良いのかなと感じました。
- ・ロープリレーの際に少し衝突の心配があったかなと思います。
- ・多くの生徒が活躍できる種目がたくさんあったから。
- ・支援の生徒には丁度いい数です。
- ・選択種目は事前に参加者を決めて、おおよその人数を知っていると少しスムーズになるのかなと思いました。
- ・運動が得意でない生徒も楽しめる内容だと思います。
- ・様々な種目があり、生徒も楽しめていたと思います。
- ・生徒はすごく楽しんでいました。
- ・ロープがたるんでいて、踏んでこけないか気になりました。

⑤ 職員の係について〈適当30、不適当1〉

- ・仕事に偏りがあるように思うので、参加行全体で運営していけたらいいと思います。
- ・実行委員の先生方の負担が大きすぎるように思いました。
- ・スムーズに進んではいましたが、負担の大きい先生がいたのではないかと感じたので、役割をもう少し振っていただければ、協力できたかと思っています。
- ・他の先生に頼りきりでした。ありがとうございました。
- ・皆さん協力していただきありがとうございました。
- ・ブロックごとに割り振られて良かったと思います。
- ・平等に分けられていて良かったです。
- ・全員、把握できてなかったけど積極的に動いていた。
- ・競技案内にもわかりやすくそれぞれの種目の説明が書かれており、用意する道具もコーンやゼッケンなどで簡単だったので良かったです。
- ・主で動いてくださる先生が決まっていたので、学校毎に振り分けても良いと感じました。
- ・担当の先生方の対応のおかげでスムーズに活動、進行ができていたと思います。ありがとうございました。

⑥ その他

- ・教員1名のため、準備片付け等、手伝いもできずすみませんでした。専門委員のみなさま、ありがとうございました。
- ・開会式の時間をもっと短くしても良いと思った。集中力が持たないし、暑さが心配でした。
- ・実行委員の先生方、ありがとうございました。子供たちはとても楽しそうで、普段と違う姿を見ることができました。
- ・お忙しい中、企画、運営ありがとうございました。
- ・生徒たちも良い経験になり、「来年も参加する！！」と言っていました。
- ・清掃の割り振りがもう少し細かく分かれている方が、スムーズにいくかなと思いました。
- ・大変なご準備ありがとうございました。子どもたちはおかげさまでとても楽しそうでした。
- ・昼食後の時間と清掃のことについて、もう少し明確に決めても良いのではと思いました。企画、運営ありがとうございました。
- ・準備などいろいろとありがとうございました。また来年度も実施することができれば貴重な経験になると考えます。
- ・清掃の内容と時間を明確にしていただけると嬉しいです。室内練習場の清掃でしたが、参加者の荷物が置かれていて清掃を始められずでした。
- ・最後に、生徒や教員みんなで清掃する点が今日一日活動した場所への感謝の気持ちを込めて清掃するところが良かったと思います。
- ・種目、ブロック担当、係、生徒の動きや休憩の取らし方などスムーズに行事が進み良かったと思います。合同うんどう会を担当された先生、実行委員の先生方ありがとうございました。

- ・この度は企画、運営して頂きありがとうございました。おかげさまで生徒たちも充実した時間を過ごすことができました。今後ともよろしくお願いいたします。
- ・合同うんどう会の開催ありがとうございました。
- ・外での待機時間、熱中症などが気になりました。久しぶりに開催でき良かったです。ありがとうございました。
- ・運営ありがとうございました。この数年、行事の中止が続いていたので、改めて行事の大切さ必要性を実感しました。
- ・お忙しい中たくさんのご準備ありがとうございました。来年度もよろしくお願いいたします。
- ・昼食時、スタンドの上のカラスが気になりました。
- ・だいたいのタイムテーブルがあれば動きやすいのかなと思う。水分補給は適時に。今後、保護者の観覧も見据えて競技の向きなど再検討。※ラジオ体操もダンスと同じ向き（正面）で。
- ・このような状況の中、合同うんどう会を開催していただきありがとうございました。
- ・お忙しい中、企画運営などありがとうございました。コロナ禍で開催できたのも、先生方のおかげだと思っております。第66回は教員同士、連携をとって協力できたと思います。よろしくお願いいたします。
- ・集合隊形に並んだとき、前後左右の間隔が少し狭かったので、前後の間隔をもう少し開けるか、グループごとに分けて待っている間、別の場所で待機するかしたら良いと思う。
- ・準備からありがとうございました。生徒の楽しんでいる姿を見て、合同うんどう会が毎年必要であると感じました。
- ・4年ぶりの合同うんどう会でしたが、子どもたちはとても楽しかったと大喜びでした。この行事の必要性を改めて感じました。実行委員の先生方ありがとうございました。

第60回大阪市特別支援学級・特別支援学校生徒作品展

“ぼくたち・わたしたちのさくひんてん”

～自立活動研修会～

A. はじめに

令和5年1月26日(木)から2月1日(水)の6日間で第60回大阪市特別支援学級・特別支援学校生徒作品展(以下作品展と表記)を大阪市舞洲障がい者スポーツセンターアミティ舞洲で開催いたしました。開催につきまして、作品作りにご尽力いただいた先生方には敬意と感謝の気持ちでいっぱいです。また、実施するにあたりまして協賛していただいた諸団体の皆様には深く御礼申し上げます。

第58回、第59回とコロナウイルス感染症の流行により断腸の思いで中止にし、展示する予定だった生徒にとっては本当に悲しすぎる決断となりました。その際は合同モニュメントのみの展示開催とし、大阪市教育委員会指導部インクルーシブ教育推進室の玄関ホールに展示しておりました。インクルーシブ教育推進室を訪れた方々を明るく出迎えていたとお聞きし、「やはり生徒たちの作品にはパワーがあるんだなあ」と心が温かくなりました。

さて、第60回大阪市特別支援学級・特別支援学校生徒作品展“ぼくたち・わたしたちのさくひんてん”が3年ぶりに無事開催されました。今年度で60回目を迎える作品展が開催できたことに改めて、当たり前ではないこと、とても尊いということを実感しました。実は、今年度から作品展を自立活動研修会の場として位置づけようということになりました。自立活動でどのような取り組みをしているのかを作品の鑑賞を通して、意見交換ができると考えたからです。生徒たちの特性に応じてどういう作業ならできるのか、また、どういう内容でどういう素材なら意欲的に取り組めるかを特別支援学級担当者が熟考したうえで取り組んでいるということが作品から伺えました。参加校が54校もあるのに同じ作品が出ることがなく、本当に多種多様なものに圧倒されました。自立活動で作品作りができない学校からは技能教科で取り組んだ作品を出品していただいたところもありました。文化祭では全校生徒の作品の中の一つに埋もれてしまうことがあっても生徒作品展の中では脚光を浴びることができるので、生徒にとっては良い経験になったようです。

B. 参加校・出品数、来場者数について

【部門ごとの参加校及び出品数】

	参加校数	出品数
作品部門	54校	620点
合同モニュメント部門	5校	641点

【来場者数】

	教職員	一般	生徒
来場者数	134名	72名	75名

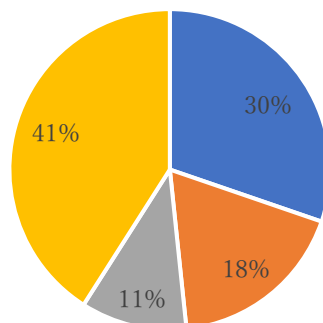
C. アンケートについて

【教職員用（189名分）】

- ・同一校から複数のアンケートをいただきました。
- ・見学に来られていない学校が複数ありました。

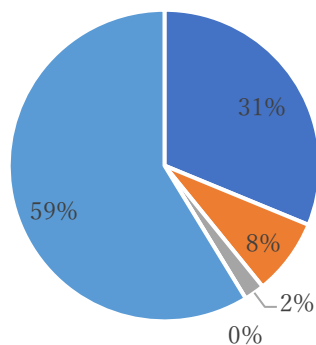
生徒作品展に出品しましたか？

■ はい ■ いいえ ■ 合同モニュメントのみ ■ 未記入



1. 生徒の作品はいかがでしたか？

■ とてもよかった ■ よかった ■ おおむねよかった ■ よくなかった ■ 未記入



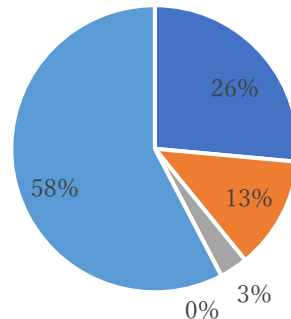
- ・特にありません。
- ・見学できていません。
- ・それぞれの個性が出ていてとても良かった。
- ・協力して制作ができていた。
- ・取り組む時間はほとんどとれず、文化祭の作品を出品することになりました。当日も欠席生徒、引率教師も不在でバス見学中止。何もかもお任せにして申し訳ありませんでした。
- ・各学校の取り組みやその中での工夫をみることができ、良かったです。
- ・一つ一つに本人の内面が反映されていて、言葉には出せない世界観に目を奪われた。
- ・一人ひとりが作ったものが結集された事でできあがった時の感動と達成感に溢れた作品となって良かった。

- ・見学に行くことはできませんでしたが、本校での様子を見ていると生徒の興味関心をベースに各生徒が取り組めており、自己を表現することができていて良かったと思います。
- ・出展しましたが、見学はしていないので、全体的なことは分かりません。
- ・いろんな学校が出展しているにも関わらず、かぶらずいろんな作品が展示されていたので、良かった。
- ・それぞれの学校の取り組みがさまざまあり、工夫しているところや取り組み内容がとても勉強になりました。どのような作品展に向けての工程や進め方の説明があるとこんな風に頑張ったんだ、また、この工程が一番苦労したけど、こういう工夫をしていたらできたなどがあると、さらに作品に対しての見方が変わるのではないかと思います。展示の仕方を分かりやすく用紙に書いてあったので、準備しやすかったです。
- ・作品を制作する際に参考にしたい作品がたくさんありました。
- ・いろいろな生徒の個性が見られてとても良かったです。
- ・どの作品も良かった！上手、立派、ほっこり、かわいいなど生徒たちが一生懸命作ったのが目に浮かびました。会場が広く、作品が少ないように感じ少し寂しかったです。
- ・各校の作品が見られて良かったです。
- ・アイロンビーズの公衆電話など力作もあり、楽しく見ることができました。
- ・作品の質はいつもがんばっていらっしゃるものが想像できる高いものでした。数が少なくなっているのが心配です。
- ・固定概念に囚われることなく、自由に表現ができました。タイルが取れやすかったので、台紙を強度のあるものにすれば良かったです。
- ・タイルの大きさや間隔、色使いで日本の四季が表現できていた。
- ・生徒の特性にあった作品を工夫できて良かった。
- ・個性のある作品を作ったがアクセスの関係で見学は見送った。
- ・出品はしましたが、参加はできていません。
- ・舞洲はアクセスが悪く、生徒引率での見学会を見送ったため、会場は市役所の方が行きやすかったです。
- ・生徒の創意工夫が発揮され、個性的な作品に仕上がった。
- ・実用的な作品が多くて良かった。
- ・それぞれの学校でいろいろ考えられていて次回作等の参考になった。スペースが広すぎたため、見栄えがとても寂しかった。
- ・様々な工夫をこらした作品が多かったです。
- ・作品展を見に行くことはできなかった。本校の生徒の展示作品のみの感想になるが、協力して作成していたので、良かったと思います。
- ・虫や恐竜をきて組み立てて作ったのですが、子どもたちが興味のあるものだったこともあって楽しみながら積極的に取り組んでいて良かったと思います。
- ・見学に行けなかったので、自校のみの感想ですが、生徒たちが前向きに取り組んでいて良かったと思います。
- ・アミティ舞洲での開催となり、今回で展示スペースの大きさがつかめたので、「来年度以降もアミティでやるならもう少し出展しよう」と思えました。今回はスペースに対して作品が少なく寂しい印象でした。
- ・生徒が主体的にアイデアを出し合って、とてもよい作品ができました。

- ・個性溢れる作品がたくさん出展されていて良かったです。制作するにあたっての、色々なエピソードがあるんだろうなと思いながら見学しました。
- ・展示作品を見に行きましたが、どの学校も出展数は少なかったものの、様々な工夫があり、とても良かったと思います。今後の参考にしたいと思います。
- ・大小は関係なく、きっちりと作りこまれた作品が多く感動しました。
- ・展示場所のスペースが広々としていて、とても見やすかった。様々な工夫された作品があり、今後の制作の参考にさせてもらえるものも多くあった。
- ・生徒たちががんばって作った作品を学校外で出展できたので良かったです。
- ・他校の作品を見に行くことができませんでしたが、自校の作品は普段の学校生活では気づくことができなかった発想力や手先の器用さを見ることができ良かったです。
- ・土曜日に見に行きました。毎年、いろいろといい作品があるので、とても参考になります。
- ・どの作品も子どもたちの頑張りが伝わるものばかりでした。
- ・ちぎり絵は3学年全員協力して作ったものなので生徒はとても満足しています。通常の学級では見せないいきいきした表情でちぎり絵をしていました。
- ・折り紙やビーズなどを使って作られていた物も細部までこだわられていて、すごいと思いました。一番印象に残ったのはコーヒーマットの観覧車です。発想がすごい！！
- ・とても工夫されている作品が多く、見学にきた生徒も興味津々でした。学校名の漢字が読めない生徒がいたので、ふりがながあれば良かったと思います。
- ・それぞれ生徒、先生方の頑張り、工夫が窺え良かった。
- ・本校ではチャレンジしたことのない作品がたくさんあり、楽しかったです。
- ・色々な発見がありました。公衆電話のアイロンビーズは特に印象的でした！
- ・どの学校もそれぞれオリジナル作品を作られていてとても楽しめました。
- ・とても工夫されている作品が多く、見学に来た生徒も興味津々でした。学校名の漢字が読めない生徒がいたので、ふりがながあれば良かったと思います。

2. 合同モニュメントはいかがでしたか？

■ とてもよかった ■ よかった ■ おおむねよかった ■ よくなかった ■ 未記入



- ・特にありません。
- ・見学できていません。
- ・テーマが少し難しかったようだ。
- ・みんなで考えて制作できていた。
- ・毎年良い作品に仕上げていただけていますが、今年もとても良かったです。
- ・放課後、それぞれに言葉を選んで考えながら取り組めたのはよかったと思います。
- ・他校の生徒さん方と作品を通してつながることができ、良かったです。
- ・ダイナミックでよいと思いました。
- ・良い作品だからこそ、さらに多くの人に見てもらいたいと思いました。
- ・合同モニュメントのテーマに合ったメッセージを考えるのが難しい生徒もいましたが、個性のある形に切って楽しくできました。
- ・テーマに合わせて自分の思いを表現することのできる場として良かったと思います。
- ・今まで何回も出しましたが、どれが誰のか分かりづらいので、参加できた気持ちのみの達成感です。
- ・新型コロナウイルス感染症の中、なかなか全体で取り組む行事少ないので、たくさんの学校といっしょに取り組める行事に参加できて良かったです。
- ・簡単に制作できるものだったので、1人1人が楽しみながら取り組めていました。
- ・支援学級の生徒たちにとって良い機会であったが、お題が少し難しく感じた。
- ・それぞれに特徴があり、個性が出ていてよかった。
- ・たくさんの学校で1つのことに取り組むのはとても大変だと思いましたし、協力することは大切でこれからにも必要なことなんだというメッセージにもなったと思います。インパクトがあってよかったと思います。
- ・制作時、あまりに大きいものを作るわけではないので、少ない時間で作れ、かつ作品展に少しでも参加できて良かったです。
- ・いろいろな学校の好きが出ていてよかった。自分の学校ももう少しこだわることができた。
- ・すばらしかったです。作品はちょっと・・・という学校でもこういう形で参加できるのはとても良いです。
- ・毎年の力作を楽しみにしています。今年の提出ができずにすみませんでした。
- ・毎年、楽しみにしています。

- ・いつも工夫しての展示、ありがとうございます。
- ・テーマや作品見本があり、取り組みやすかったです。
- ・作成に多くの時間をかけることなくできたので、ちょうど良かった。
- ・参加できていません。
- ・いろいろな言葉、色も工夫されていてよかった。
- ・事前調査の数より減っているせいなのか今年のモニュメントはかなりスカスカに感じた。
- ・大変美しい作品に仕上がっていました。
- ・簡単で作りやすいものだったので、良かったと思います。
- ・テーマが良かったと思いました。
- ・テーマは決まっていますが、学校によってこんなにも個性豊かなものになるんだなと感心しました。
カラフルで明るい気持ちになりました。
- ・美術班、実行委員の先生方、本当にありがとうございました。とても素敵な合同モニュメントが完成していて、まとまり感を得ました。毎年、とても素晴らしいですね。
- ・スケールの的にもとても見やすく工夫されていました。
- ・生徒たち一人ひとりの個性豊かな「ひと言」が素敵だった。このような素晴らしいモニュメントや作品をもっと多くの学校が見学できたらと思いました。
- ・毎年、続けてほしい。書かせる内容は明確であって欲しい。
- ・とても綺麗に飾っていただき、良かったです。ありがとうございます。
- ・色々な内容で学校ごとにカラーが出ていて面白かったです。
- ・バランス良くレイアウトされていて良かった。

3. 作品制作（自立活動）で工夫したことや苦勞したことなどをお答えください。

- ・お互いの得意な所を生かし、作業を分担するなどして協力して制作した。
- ・生徒により得意・不得意の差が大きいため、それぞれのできる作業を用意するようにした。その結果、生徒同士でアイデアを出しながら作業ができていた。
- ・今年度は制作の得意な生徒が多く、特に苦勞はなかった。教員側で準備をしすぎたかなという反省がある。
- ・幅が広くて何をしたらいいかが難しい。
- ・体育大会などの行事が続いていたため、自立活動の時間を多く確保することが難しかった。
- ・特にモニュメントの一言を書くことはこれから頑張っていく方法を探るべく言葉を考える上で全員が工夫できたと思います。
- ・横に座って、意見を聞きながら進めた。
- ・教科の学習時間を保障するために自立活動の時間を十分に確保することが難しい。生徒の主体性を伸ばすため、取り組む際には生徒の意見を引き出すような声掛けをするよう心掛けた。
- ・本校は入り込み授業を中心に行っており、抽出は来年度より行っていく予定にしています。その中でも1年生はランプシェードや牛乳パックからハガキを作った生徒もいます。子どもの障がいの程度に応じて、その子に合った課題を設定し、目標を達成していくことを意識しながら取り組みました。また、大人数で取り組めるものにもチャレンジしていけたらと思います。
- ・本校の自立活動は現在、植物や生き物を育てることをしているため、毎年、作品展につながる作品作りはできておりません。また、校内の文化発表会での展示作品としては、支援学級として巨大アートに抽出授業を受けている生徒たちで協力して取り組むことが多いため、作品の大きさやスペースの制限がある作品展には出品しておりません。せめて合同モニュメントだけでもと思い、参加しております。
- ・生徒の言葉を引き出すのが難しいと感じた。「例えば・・・」と提案すると、その言葉以外浮かんでこないということが数回あり、作品制作ではその部分で大変だと感じた。
- ・作物栽培、収穫をし、販売まで行った。作物がちゃんと育つよう土作りなどの準備が大変だった。
- ・各教員の得意、不得意があり、時間がかかることがある。
- ・本校では自立活動主担者がおり、指示の元行っているが、主担者の負担が大きくなってしまう。
- ・今年度の自立活動の取り組みは野菜作り（チンゲンサイ、キュウリ、ゴーヤ、聖護院大根、春菊、ニラ、ピーマン、万願寺、ナスビ、ジャガイモ）、ビオトープ作成、管理、校内緑化活動（チューリップ、ゴデチャ、ジャーマンアイリス、スイセン）、メダカの飼育、繁殖
- ・合同モニュメントのみでした。一人ひとりに今の自分を見つめるというところで支援担任が丁寧に話をして書かせました。
- ・作品展のために作品を制作する時間がなかなか確保できず、合同モニュメントのみの参加でした。学校によっては抽出の時間を自立活動の時間に置き換え、作品を制作しているのかもしれませんが、テストがあることなどを考えるとなかなかできなくて。こちらがもう少し余裕を持って考えていきたいと反省しております。
- ・担当の教員は心のケアに努めており、作品を生み出しやすい状況を作っていた。書かせているのではなく、本人が書きたかったものが結果として展示作品としてみなさんの目に留まっているのがステキだと思いました。
- ・抽出授業がない生徒でも関わりを持てるように放課後に少し協力してもらう。

- ・同じ物を作っているにもかかわらずペースや技術力の違いが出てくるため、適材適所で役割と分担してもらいながら行った。授業とは違い、終始笑顔で楽しい時間を過ごせた。こういった心の余裕、ゆとりは大切であると感じた。
- ・簡単な折り鶴だったので、生徒たちも楽しく作ることができました。また、完成した作品を見た時に達成感を味わえていたので、取り組めて良かった。
- ・子どもにとって難しすぎず、取り組んだ後に成長や達成感のあるものにするためのアイデアを出すのに少し時間がかかった。「自立活動」としての授業は設定していないので、取り組みをいつさせるか迷った。(今回は特別支援学級で1つの作品を仕上げたので、個々の目標との兼ね合いも考える必要があった。
- ・生徒個々が工夫して文章を作る学びの時間を持てたと思います。
- ・なかなかまとまった時間が取れず、生徒によって作品に費やす時間がバラバラになってしまった。
- ・葉の形や色、自分たちのピースメッセージをそれぞれの生徒が考えて、楽しく作業していました。
- ・自ら選択する機会として設定し、どういった作品を作りたいかを決めさせた。また、その際には自分の意見だけでなく他者の意見を尋ねるといったルールを決め、合意形成させるようにした。作業時間の確保が難しかった。(生徒により抽出の時間数が異なるため)
- ・生徒の能力に応じたできるだけ自分の力で制作できる活動の設定が難しい。自分自身まだまだ経験が浅く、個に応じた活動の引き出しが少ないので困ることがある。
- ・野菜を育てる。通常の学級、支援学級の中で自分の考えを言葉にする練習や会話を通じてコミュニケーション能力を高める。登校時、支援学級で1日のスケジュールを考える。
- ・ただ、作品制作を行うのではなく、自立活動の視点を大切に取り組みました。作業においては日常生活動作の向上と認知力を高めることを目的に取り組み、今後の自立活動の授業に生かせるよう行いました。来年度は作品展示できたらと考えており、作品展を観に行かせてもらった際は作品から授業等に生かせるようにものはないか考えさせてもらい、勉強させてもらえたらと思います。
- ・複数名の生徒が一人一つずつ、同じ作品を作る場合でも生徒によって得意・不得意の差が大きいので、生徒ごとに制作にかかる時間にバラつきがあった。生徒に合わせた事前準備の大切さを感じた。
- ・教室に入りにくい生徒にとってとても励みになりました。遠いのが行きにくいです。
- ・学習場面でのヒントの与え方に工夫している。
- ・作品制作をしていないため、特にコメントはございません。
- ・作品制作しておりません。自立活動について自立活動の時間に取り組む学習内容だけでなく、教科を横断して個々の生徒に応じた活動を取り入れるようにしている。
- ・今回、制作に関わっていませんが、過去に出品した時には数人の生徒でスタートしたにも関わらず、毎回、制作に参加できる生徒が一人しかおらず、なかなかはかどらなかったことがありました。
- ・自立活動学習の予算を次年度から考えていきたい。
- ・生徒の自主性を大事にしており、作品においても絵の内容や色使いなどはできるだけ生徒自身に考えてもらい、その他のことについてアドバイスをするようにしている。
- ・生徒自身の興味・関心に沿うように心掛けた。
- ・今年度は制作しておりません。
- ・自分の気持ちを自分のことばで発することがなかなかできない子どもたちにとって今回のような短文を少しずつ表現することで次につながる取り組みになったと思います。これからもよろしくお願いします。

- ・画用紙 10cm×10cm 教員側で切っておくことで生徒たちは好きな葉っぱの形に作るだけだったので、しっかり説明をすれば特に苦勞することはありませんでした。来年度も参加したいです。
- ・生徒にできるだけ一人であることを促すのが苦勞しました。
- ・お題が難しく感じている生徒がいた。
- ・各学年で制作時間が異なったため、制作中は録画した。
- ・抽出している生徒は、その時間中に取り組むことができたが、抽出していない生徒はどこで取り組ませるのか時間確保が難しかった。
- ・自分でできるようにまずやり方を見せたり、手順の説明をして写真で見せたりした。見本を見て、手順（工程）を見ると、できる方が多かったと思います。
- ・合同モニュメントのみ参加しました。指先の運動と折り紙の色選び（選択の練習）、小さいイラスト（想像力）について意識しました。抽出では勉強をすることが多い学校ですが、生徒は楽しく取り組みましたようです。また、普段中々できない指先の運動ができたので、生徒の得意、不得意を知るきっかけになりました。
- ・アイロンビーズを作成した。いろいろなアニメのキャラクターなどを作ることができ、授業の残り時間や休み時間を活用したことで意欲的に取り組むことができました。
- ・どのような作品を作ったらいいのか考えることに苦勞したので、様々なパターンの制作例が分かったらよかった。
- ・コミュニケーションに課題がある生徒の自立活動では、友達との関係で悩んだり、トラブルなどがあったりした時に支援者と振り返りを行い、その振り返りの中で課題がある生徒の良い所をまず一つ見つけて伝えてから、良くなかった所の話や対応の仕方については工夫をしました。
- ・自立活動の教材でどんなものが良いのか他校に聞き、来年度の予算であげるものを決めました。生徒にあった教材を選び、支援をしていく必要があると改めて感じました。
- ・ダウン症の生徒に対しての自立活動で長期休みの後などリズムがうまくできずに授業などに影響が出ることがあるので、休み明けなどは授業に影響がでないように調整している。
- ・コミュニケーションが苦手な生徒に対して SST の勉強をおこなった。まだまだコミュニケーションが乏しいが継続的に取り組んでいきたい。今までなかったクールダウンの部屋を今年度から作ったことにより情緒障がいの生徒が安心して学校生活を過ごすことができるようになった。その部屋を利用して、時間割、授業の持ち物の確認、ファイル整理なども取り組んだ。
- ・手先が不器用な生徒と器用な生徒の進度が合わないこと。
- ・作業のペースの確保、作っている途中の部品等の保管に苦勞した。
- ・生徒の好きな色を聞き、その色を使ったものを題材にしたかったので、その色の題材を探すことに苦勞しました。
- ・写真をモザイクにし、Excel にするのがすごく苦勞しました。
- ・支援学級の出入りがある程度ある生徒は参加を促しやすく、「何かを作る」という目標が見えて取り組みやすいが、なかなか支援学級にこない生徒への声掛けなどが難しく、生徒の中でも温度差があって苦勞しました。
- ・支援学級全員で作品を完成させることを目標に取り組みましたが、支援学級にあまり来ない生徒の取り組み時間の確保が難しかった。
- ・絵を描くのが好きな生徒がいるので、作品出展を考えていましたが、抽出授業の中では教科学習との兼ね合いもあり、制作する時間が取りにくい。

- ・作品の提出期限までに生徒の心の状況などが優れなかったり、登校ができなかったりとスケジュール管理に苦勞しました。作品完成図を作成することで作る楽しみや好奇心を沸かせることを工夫しました。
- ・進路にもよりますが提出物などに追われることが多く、作品制作の時間を取ることができなかった。また、生徒の精神が安定しないこともあり、予定通りにいかないことが多かった。来年度こそ時間の確保、落ち着いた環境で作品制作に取り組みます。
- ・最初に考えていたものは粘土細工でしたが、紙粘土がうまく扱えず断念しました。全く別の分野で出品してしまい申し訳ありませんでした。出品者本人はとても満足しており、来年も何かしたいと言っています。ありがとうございました。
- ・中途視覚障がいになった生徒の支援方法が分からず苦勞した。視覚支援学校の先生からアドバイスをいただくことはできたが、適切な教材、教具がなく困った。代用できるものを工夫して自立活動につなげた。
- ・個人の作品を作るときにできる限り本人が作業できるようにフォローした。
- ・支援教室に行く人、行かない人で作業差がつかしました。全員が同じように取り組める内容（作品）を考えることに苦勞しています。全員に同じ自立活動の目標を持たせてよいのか気になりました。
- ・タイルをちぎることでストレスを発散したり、自分のイメージで作品を作ったりできること。
- ・タイルを割る、ボンドで貼り付ける等の細かい作業が多かったため、集中力が続きにくいように感じた。抽出授業で特別支援教室によく訪れる生徒とあまり訪れる機会のない生徒量に差があった。
- ・大樹の四季の移ろいをタイルアートで表現しました。幹にもタイルを貼って、夏の時期でも青色を使うなどして常識にとらわれないカタチや色彩でカラフルな作品に仕上がりました。
- ・一人ひとりの作品ではなく学年合同で一つのものを作り上げたので、一人ひとりの制作にかかる時間のばらつきがあった。
- ・完成イメージをパソコン等で見せることで取り組みやすくなった。
- ・身近な材料をしようし、でき映えが良いもの考えた。実際に完成したものを前もって提示しておく、見通しをもって作業することができた。
- ・工作が苦手な生徒でもこれならできそうと思ってくれるように色んな種類の中から提案し、自分の意志で選んで取り組むことを大切に工夫した。
- ・製作時間は教科と合わせた指導として位置づけ、抽出授業の時に例えば 50 分中 35 分間は教科、15 分間で自立活動（作品制作）とするなどして確保しました。
- ・興味を持たせて作品作りをさせること。
- ・身近にある物（ペットボトル等）を材料として使った。簡単な作業（貼り付ける）でも柄や模様を作れる物を選んだ。
- ・ペットボトルにガラス玉をつけていく作業で接着剤の使用で気を使った（汚れや安全面）。片付けが苦手なので、片付けをさせることに苦勞した。
- ・国語科の課題の絵手紙や美術科の鍋敷き制作、技術科の夏季課題としての自由作品の割りばしを使った工作等を特別支援教室での抽出授業の時間を使って自立活動を兼ねて取り組みました。通常学級の教科の課題とは別の特別支援学級だけで取り組んだ作品は今年度ありませんでした。自立活動としては主にコミュニケーションや心理的安定といった項目について会話や作品として形に残らない作業学習（ジェンガ等）で取り組んできました。
- ・抽出生徒が少ないため、通常の学級での取り組みの中で自立活動をどのように進めていけばよいかととても悩みました。

- ・ 基本的な方針として通常の学級での入り込みをしながら学力の保障をしている。進路が決定した生徒に関しては自立活動の一つとして作業学習を取り入れ、その中で作品作りをしている。
- ・ 作品展に出品する作品制作に取り組めなかったが、個別には自立活動として支援学級で個々の生徒の実態に応じた作業を取り入れた。来年度は是非支援学級で取り組んだ作品を発表できればと考えている。
- ・ 今年度より作品作りや野菜作りなど取り組みを始めましたが、適切な課題の選択（何が子どもたちにとっていいか）や同じ授業に障がいの差の大きい生徒がいる場合のことなど苦勞しました。特に三年生について支援学校進学を考えている生徒と一般高校を目指している生徒が同じ授業でいる場合、とても悩ましいところです。
- ・ 生徒たちの集中力を持続させること、授業が教員1に対して2～3人教えるので、バラバラの作品を作っているため、同時に見ることに苦勞した。生徒たちが興味をもって取り組める教材を考え、最後まで愛着をもって制作できるようにアイデアを考えさせることに時間をかけている。
- ・ 作業時間を設定していますが、不登校気味の生徒の作品が仕上がる目処が立たなかったことが苦慮することでした。
- ・ 子どもたちから意見を聞き、本人たちがやりたいことをさせてあげることが意識しました。書く、貼る、ちぎる、切る、塗るなど、様々な活動を組み込みました。
- ・ ICTを活用して授業を行った。
- ・ 今年はビーズアート作りにチャレンジしました。1年生は図案を読み取ることが苦手な生徒だったので、教員でビーズを教えそれをつまみ取り、作成していたので、同じ作品でも学年により取り組み方を変えた点が工夫したことです。ビーズアートは細かい作業で時間もかかるので、在籍生徒全員実施は難しいと思います。
- ・ 進路という時期もあり、自身がしたい課題に対して主体的に積極的に取り組むことができた。課題を選択させ、集中して取り組ませることができた。
- ・ 美術の時間以外に作品制作の時間を取ることが難しいので、美術の授業内で取り組ませることに苦勞しました。もし、時間があれば、作品展の作品作りをしていきたい。
- ・ 一人ひとり役割を与えて、それぞれ取り組んでいたのも、とても良かったです。色のバランス等も生徒が考え、次年度に生かしていければと思います。
- ・ 今回、作品制作に携われていないので、特にありませんが、制作する様子を見ていて、通常の学級で学習している生徒も多いので、時間設定が少し大変そうだと感じました。
- ・ ボンドを使わずに組み立てるのが苦勞したところでしたが、教師と生徒が協力してできました。
- ・ 作品制作について生徒たちが自分たちで一生懸命に考えて取り組む姿は良かったと思います。また、作品が完成した時の達成感は今後の学校生活で大切になってくると思います。
- ・ 担当の先生が生徒一人ひとりに役割を与え、責任をもって完成させるよう指導されていたが、作業時間が長くなると飽きてしまう生徒がいたので、もう少し時間配分や作業内容を考える必要があったと思う。
- ・ 本校からは3年ほど前から取り組んでいる「季節の壁面装飾」を出展しましたが、季節感が無かったり、そもそも行事になじみがない生徒が多かったりしたので、切る、なぞる、貼るなどの制作のための基礎的な作業を取り入れつつ、楽しめるように工夫しています。モンテッソーリ教育の要素を取り入れることも多いです。
- ・ 手先を使った自立活動として取り組んだ。
- ・ 書くための形を個々でタブレットを使って調べ学習させた。

- ・複数の生徒で自立活動を行う中でコミュニケーションに重点を置いています。教員が生徒の話をうまく回すことと声が小さい生徒のコメントを他の生徒に伝わりやすいようにまわすことで発言した生徒がみんなに知ってもらえたという自信を持ってもらえるようにしています。
- ・ハサミをつかった作品制作だったので、安全に配慮しながら作業するのが大変でした。
- ・合同モニュメント制作時は異学年小集団で取り組み、みんなで「応援の言葉」「励ましの言葉」「言われて嬉しい言葉」などを考えて意見を発表する授業にしました。その後、自由に画用紙・色紙・ペン色鉛筆など材料を選んで完成させました。作品制作は「自分の好きなもの・こと、作ってみたいもの」をテーマに自分で計画し、完成できるように、一緒に考えたり、(タブレットや図書室の本を使って)調べたりしながら取り組みました。完成した時は達成感に満ち溢れており、自己実現につながったと考えています。今回は授業で十分に時間を確保できる生徒だったので、次年度はより多くの生徒で取り組めたらと思っています。
- ・何を何のために制作するのかを生徒たちに伝え、作業に入りました。送付していただいたマニュアルが大変役に立ちました。
- ・生徒にテーマを考えさせ、そのテーマに合ったものや動物を折り紙で表現させました。折り方の写真を見せて、何を折れるかも決めさせました。折り方の分からない時にはサポートをしました。
- ・ICT(タブレット端末)を活用した。
- ・他の生徒とコミュニケーションをとりながら、作品を作っていた。自分はどうしたい、相手はどうして欲しいを少しでも考えてもらうように心がけた。
- ・生徒自身のアイデアが思いつかない時に複数回に分けてヒントを小出しにしていく。そのヒントを参考に制作してもらう。
- ・作品制作において工夫した点は作品が完成するまでの過程を制作者自身に立てさせ、仕上がりを見て達成感を得られるようにしてもらうことです。一人ひとり個性豊かな作品を制作し、また、それぞれの持ち味を活かせるよう励んでいたのも印象的でした。苦労した点はモチベーションの維持かと思います。特に3年生は意欲的に取り組んでいてくれていましたので、高校に進級しても作品制作に熱心に取り組んでくれることをきたいしています。
- ・校内で消しゴムスタンプづくりを行いました。制作のための作業手順を生徒に伝えながら、安全に作業させるために興味を持たせて集中を持続させるのに苦労しました。
- ・案や指導の助言をどこまでしたら良いのか難しく生徒の個性、特性を把握するよう努めました。空間認知が弱く、図形等の問題が難しい生徒に対しては環境の把握の認知特性(具体的な形のイメージ)と関連付けて指導するようにした。
- ・何をどのようにして描けばよいのか答えをこちらから出してしまっただけでは課題に対しての学習の意図を失ってしまうので、自分なりの答えを持たせるためにどのようなことをイメージさせるのかを工夫した。
- ・篆刻をした際に、完成図を具体化して彫り進めることが難しい。細かい手順を伝えないと自ら作品制作できない生徒がいた。
- ・生徒が好きな電車やすごろく作りの力を活かして、創作させた。
- ・作業(作品づくり)の時間を時間割の中に組み込んでいる生徒は1名しかおらず、どちらかというと国、数、英などの授業を抽出している生徒が多いです。3学年そろって、作業学習などの時間が取れば交流ができてとてもいいと思うのですが・・・
- ・それぞれの子どもたちが手応えを感じられる活動づくりを探っていくこと(時間づくり)。来年度は本校からも展示作品を出品できるよう、より計画的に活動を作っていこうと思います。
- ・時数確保。抽出(自立活動)しないので・・・。

- ・ 自立活動の中で作品制作をしていません。
- ・ 本人の意志ややる気を尊重しながらの制作でしたので、割と時間がかかりましたが、生徒本人はとても満足度が高い様子でした。
- ・ 本校ではある生徒の抽出授業で手先の運動として色紙ちぎりを行っています。その生徒がちぎった色紙を他の生徒達が描いた絵に貼るという作業をしました。ちぎった生徒は弱視のため、自分で貼ることが難しく、どうしようかなと考え、支援学級の皆で協力して作品作りをすることになりました。抽出の授業がそれぞれ異なった時間のため、活動する時間配分に苦勞しました。
- ・ 美術の先生と協力して授業で作成した作品を出展しました。抽出授業が少ない中で作品を作る時間がなかったため、難しかったです。
- ・ 集中を切らさないよう、生徒が見える場所にタイマーを置いた。1日ずつ課題のゴールを設定してホワイトボードや黒板に提示した。自立活動で抽出を3人で行っているの、協力してほしい課題で競争心が勝ってしまい、苦勞した。コミュニケーションを積極的にとれるような課題を設定した。
- ・ 今年度は出品していませんが、抽出の時間が少ないと作品制作の時間が取れず、時間の確保に悩みます。自立活動の時間で作品を制作されているのですか？また、機会がありましたら出品したいです。
- ・ 工夫はしていません。合同モニュメントに書く文章を導かせるのが難しかった。
- ・ 制作の途中で頓挫してしまうことが多かった。テーマを何種類か出していただければ、本人たちもできるかなと思います。
- ・ 支援学級在籍生徒で飯盒炊爨を行った。バス・電車を利用し、目的地まで行き、調理を自分達で行った。
- ・ 登校時間に正門であいさつ運動と合わせて、紙パックやプルタブの回収を呼びかけ、普段、何気なく捨てているものを活用して作品作りをしました。作品展示と制作過程ムービーを文化発表会で発表しました。校内の「福祉サークル」という部の活動の1つとして取り組んだので、特別支援学級在籍生徒と通常の学級の生徒との交流の場としても活動の様子を報告できました。
- ・ だんだんと自立活動の時間をとる生徒が少なくなっているの、作品を作らせる時間がなくなってきた。
- ・ 折り鶴のモザイクアートだったので、たくさんの鶴を折ることが大変でした。最初は鶴の折り方を覚えるのに必死な生徒ばかりでしたが、慣れてくると、心が落ち着くことにつながったり、手先のトレーニングにつながったりしてとても良かったです。
- ・ 玉のれんの制作において、設計図通りに間違えずに玉を通していくことがとても難しかったです。
- ・ 普段、勉強を全くしない子がちぎり絵だと一生懸命取り組んでいました。丁寧に紙をちぎったり、糊で貼ったりしていたので、意外な一面が見られました。作品展がない時期でも何か作品を作らせて活躍できる場面をもっと提供していきたいと思います。
- ・ 選択性緘黙症の生徒が意思決定に時間がかかったり、「赤と青どちらにするか」さえ決められなかったりする状況の中で作品づくりをしていくことは大変だった。支援者が決めてしまうことのないような工夫（消去法、意味づけ）をするよう心掛けた。作品の出品はしていないが、見学には行った。作品制作のアイデアをたくさんもらえたのでよかった。早速出品されていた作品をまねして作り始めました。次年度は出品できるように計画を立てたいと思う。

- ・作り方の動画を見せ、視覚的に分かりやすいようにした。生徒それぞれの作品を完成させる力を考えながら、それぞれのアイデアを引き出すことを大切に活動を進めました。自分でデザインした作品を仕上げ、完成させた時の喜びを感じてくれたと思います。はさみ、穴あけパンチ、ボン
ド、のり、油性ペン、折り紙、牛乳パックとさまざまな道具や物に触れ合いながら作業をし、道具
の扱い方や加減なども経験しながら作品を完成させました。
- ・自立活動の時間を少しずつ使って、少しずつ作品づくりに取り組むことができたように思います。
共同作品にも力を入れて取り組んでいきたいと思いました。
- ・オリジナリティを出すこと、個人で考えて制作することを工夫しました。苦勞したことは、なかな
かオリジナルのものを作ることができず、既存のキャラクターが出てしまったことです。
- ・文化祭で生徒作品（支援学級生徒）を展示するために制作した時に本人の好きな絵を描かせるだ
けでなく、図鑑を見ながらや音楽をかけながらなどいろいろな感じながらできるように工夫した。
（普段は、人の形やものや動物を描くことが難しい生徒）
- ・支援教室へ来る時間がバラバラで個人作業が多くなり、みんなで作っているという意識付けが難
しかった。
- ・苦勞しことは、作品を作る時間を取ることが難しかったことです。本当は合同モニュメントの葉
っぱを生徒に考えさせるところから始めたかったのですが、4名中2名は抽出なし、放課後が部
活動で作る時間がないため、言葉のみ生徒に記入させました。もっと時間をとることができたら
良かったなあ・・・と思いました。
- ・どんな作品を制作したらよいか、なかなかよい考えが浮かばなかったです。ビーズ作品では針金
を通すところが難しくて手伝いました。作品の参考になるものがあると助かります。
- ・教師側でイメージしていることを口で伝えても伝わらないので、実際に手本でやってみせて、取
り組んでもらった。
- ・学校生活の中で触れているものをテーマにしたかったので、支援学級で飼育している亀について
の作品を作りました。下書きの際にはみんなできょうりよくして観察もできて新しい発見がたく
さん見つかりました。
- ・各個人で好きなものが違うため、それぞれの得意なことを生かして活動した。
- ・1年生全員で1つの作品を作るというところでどういった作品を作るのか、悩みました。また、時
間を見つけながらの制作だったので、今回は余裕をもって取り組んでいきたいと思いました。
- ・1人1人の作品よりも1年生全員で作品を1つ完成させることを大切にしました。特別支援学級の
生徒はコミュニケーションを取ることが苦手な子が多いため、フリールールのメンバーでコミュ
ニケーションを取りながら1つの作品を作ることで自立活動にもつながりました。
- ・応援うちわだったので、人の気持ちになってみたり、その思いを表現したりするところが苦勞し
ました。
- ・とにかく好きなことを工夫して最後まで完成させることがいいなって思います。その中でいろい
ろ子どもたちが乗り越えていっている壁いたいなものがあるので。それを見つけて認めていって
またやっていたいなという気持ちに進めたらいいと思っています。
- ・日頃の隙間時間にしっかり頑張って作った甲斐がありました。ありがとうございました。
- ・担任ではないので、想像ですが作品はじっくり時間をかけて作られていることがよくわかります。
先生方の子どもたちへの愛情が感じられました。
- ・予定していた作品ができなかったなので、代わりの作品を出品しました。
- ・教科の授業中心の生徒が多いため、制作に費やす時間を確保することが難しかったです。

- ・本校では、自立活動で畑作業をしました。育てるのはもちろん、育てていくうえで出てくる虫や上手に育てるコツなどをインターネットで調べさせました。このご時世ですが、収穫した作物で調理したものを学級担任をはじめ、お世話になっている先生方に提供させていただきました。今年はデザインや案を出す生徒が多く、出品できませんでしたが、階段アートも自分たちで考えて、仕上げました。ゴールに向かってみんなで協力する姿はステキでした。
- ・畑作業のお手伝いをさせてもらいましたが、真夏の雑草抜きは大変でした。しかし、収穫の喜びは大きく、生徒達も野菜をたくさん食べました。キュウリが大きくなりすぎて、もう少し早めに獲ればいろいろな学ばせてもらいました。
- ・ランプシェードでは、教員と生徒両方ボンドで手がベトベトになりながらも制作しました。また、各ランプシェードに色紙をつけることで色々な作品ができ、より楽しめる作品になっています。
- ・レジンでの模様やランプシェードの素材を工夫しました。
- ・今回の作品づくりには直接関わっていませんが、書道は個性が出て、作品的にもいいものができたのではないかと感じています。
- ・制作時間の確保が難しかった。（本校では自立活動のみの時間がないため、抽出授業などを代替しながら取り組んだ。）他校ではどのように制作しているのか気になった。
- ・細かい作業はもちろんアイデアを出す部分も子どもたちにとっては良い経験だったと思います。
- ・自立活動を進めている所なのでどんなことをされているのか教えてほしいです・・・
- ・自力で取り組めることを目標に生徒一人ひとりに必要な工夫を仕組む（指導者が）ことが大切かと考えています。作品を自分で作り上げることで生徒が達成感をえられるよう指導していくことを心掛けています。
- ・折り紙を立体にしていく折り紙アートは大変時間がかかりましたが、指先の運動や気分転換（ストレス解消）にもつながり、こどもたちも自主的に取り組むことができました。

その他ご意見

①最後になりますが、今回の作品展への各学校からのお手伝い（当番）に本校の回数は多かった（多すぎでは）と思います。他校と均等割り当てだったのでしょうか？疑問を感じます。

→大変失礼いたしました。備考欄に何も記載がなく、また、SKIP メールで連絡した際も特にご意見がなかったので、チェックされているところが可能なお日にちだと考えて組んでしまいました。他校では複数の日程を組んでくださり、複数おられるとのことで日によって当番をいろんな方で割り振ってくださった学校もあったため、同じように考えてしまいました。今年度も実行委員会の先生方にご尽力いただき、本当に助かりました。割り当てにつきましては次年度の反省材料にしていきたいと思います。ご意見いただき、ありがとうございます。

②今年度の会場当番者について一人当たりの当番回数にとっても差があると感じました。本校の担当教員も良かれと思って可能日程を書かせていただきましたが、これだけ入っていたことにビックリしており、本来の業務とのバランスが大変でした。本校だけがそうならないように平等にお願い致します。

→（①のご意見をいただいた学校と同一校）

大変失礼いたしました。当番アンケート通りに入力し、発送いたしました。後日、特にご連絡や問い合わせがなかったため、そのまま実施に至りました。学校によっては、学校内で行けそうな先生が交互に名前を入れてくださったところもございました。同じ状況なのかなと思い込んで困っておられたことに気づかず申し訳ありませんでした。次年度はこちらから丁寧に確認をさせていただく体制を作っていきます。

③大変お世話になり、ありがとうございました。今後ともよろしくお願いいたします。

④主担者会の先生方をはじめ、実行委員会の先生方ありがとうございました。

⑤実行委員会と拠点校の先生方には大変お世話になりました。ありがとうございました。今回は展示会場が遠方だったせいか生徒及び保護者の見学希望がなく、会場に足を運ぶことができず残念でした。作品制作の時間も充分とれなかったことも今後の課題として残りました。

⑥本当にお疲れさまでした。ありがとうございます。

⑦ご担当いただいた先生方、お忙しい中、ありがとうございました。

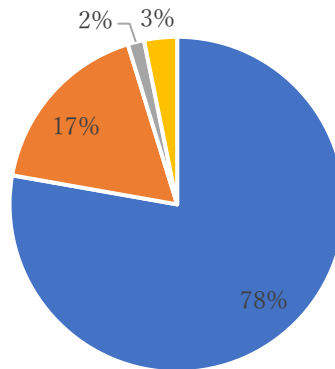
⑧No one will be left behind!! No child will be left behind!!一人ひとりが輝ける教育を引き続きよろしくお願いいたします。

⑨係の皆さん、ご苦勞様でした。ありがとうございました。

【生徒用（63名分）】

1. 作品展を見てどうでしたか？

■ とてもよかった ■ よかった ■ まあよかった ■ よくなかった

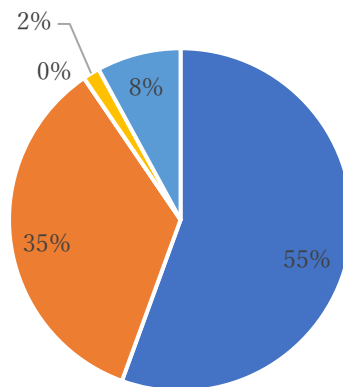


- ・一つ一つすごい作品だった。
- ・クオリティが高かった。細かかった。しんたつがでかかった。
- ・他の中学校の作品が見られてよかった。
- ・とてもよかった。作品のひとつひとつにどりよくがみえてよかった。
- ・みんな色々な作品を作っていました。凄くキレイだったし、凄くうまかったです。
- ・全体的に工夫されているところが多くて中学校によって個性が出ていていろいろな違いがある作品があってとてもいいと思った。生徒が全員で協力して作った作品もきれいでよかった。
- ・様々な見方で作っていてすごくよかったです。
- ・みんなの個性が引き出されていて良かったと思いました。
- ・個性を感じた。
- ・個人の作品では一人一人の個性が出ていて見て楽しかったし、合同作品ではすごくがんばって作ったんだなあって思いました。
- ・ぜんぶよかった。
- ・すごかった。
- ・アイロンビーズがよかった。顔を作っていた人がいた。
- ・どの作品も上手でいいなと思いました。
- ・いろんな作品を見て楽しかった。
- ・作品がよくできていた。
- ・絵が上手かった。
- ・みんなの作品はしっかり手がこんでいてとてもよかった。
- ・電車がものすごくすごかった。
- ・めちゃきれいでした。車が本物でリアルでした。絵のはいけいがきれいでした。
- ・電話ボックスがリアルでびっくりしました。
- ・色んな作品を見て色んな物をつくりたいと思った。
- ・絵とかイラストもとてもかわいかったです。
- ・すばらしい作品ばかりでした。
- ・電話ボックスがよかった。

- ・みんなとつくったやつがよかった。
- ・いちばん印象的なのは安土城の模型です。
- ・ぜんぶすごかった。とくにカブトムシのもけいとかんらんしゃのもけいがすごかった。
- ・北斗七星がうまかった。
- ・色んな中学校が「がんばって」つくっているという思いが作品を通してつたわってきた。
- ・護衛艦と戦艦大和がとてもよかったです。
- ・色々な中学校が想いをこめて作っているのが分かる。
- ・置かれた作品のためにぼくたちは一生懸命絵を描いていろいろ見ました。とても綺麗でした。
- ・みんなのきれいな作品を見て、よかったと思いました。また、いろいろな作品を見てみたいと思いました。
- ・さまざまな作品があり見ていてワクワクしておもしろかった。
- ・みんな工夫していてよかった。
- ・いろんな作品があってとても楽しかったです。
- ・とてもきれいだった。
- ・東我孫子中学校の公衆電話は細かい所もさいげんされていて、すごいなと思いました。東中学校の作品は色合いやお花がすごくきれいで作ってみたいと思いました。
- ・市岡中学校の光がとてもきれいだった。
- ・東我孫子中学校の作品はすごいこまかくてきれいにつくられていてよかった。
- ・こうしゅうでんわがよかったです。その理由はしっかり作られていることとクオリティがたかいことでとてもよいです。それとキレイなビンもよかったです。
- ・公衆電話のお金をいれる所やカード、でんわのひもがすごいリアルだった。
- ・すごく公衆電話がリアルにできていたところ。
- ・作品のこせいがあってよかった。がんばって作ったんだなあって思った。
- ・すごくいい作品で自分もこんなふうになりたいと思いました。
- ・いろいろな作品で東中学校の作品がうまくできていた。自分たちの作品もキレイにできていた。
- ・みんないっしょうけんめいでつくっていてとてもいいさくひんだった。
- ・みんな、一生懸命作った作品で、ぼくは、それが素晴らしいと思いました。そして、なによりも、努力していることを感じると、とても素敵だと思いました。
- ・自分で作った作品がすごかった。

2. 合同モニュメントを見てどうでしたか？

■ とてもよかった ■ よかった ■ おおむねよかった ■ よくなかった ■ 未記入



- ・いいことばがたくさんあった。
- ・でかかった。色々な色があった。
- ・他の中学校といっしょに作品が作れるのとみんなの思いが見られてよかった。
- ・よかった。ちぎり絵などの作品がとてもよかった。
- ・色々な学校が世界じゅうの子どもたちのことをかいてよかったなどおもいました。
- ・いろいろな中学校の人たちのメッセージがこもった葉のついた木ができていてとてもよかった。
- ・紙がうまるぐらいに平和をねがっている事がかいていて、良かったです。
- ・学校によって葉っぱの色や形が様々で良かったと思いました。
- ・いろいろな思いをかんじとった。
- ・一人一人の思いがつまっているすてきな物だなんて思いました！
- ・ぜんぶ
- ・うまかった。
- ・ぼくのさくひんがあった。
- ・いろいろなメッセージが書いてあっていいなと思いました。
- ・とてもすごかった。
- ・みんないいことをかいていた。
- ・みんな将来のことを書いていた。
- ・色々な皆につたえたいことがあってよかったと思う。
- ・目が見えない人用に点字もあってすごいなと思った。
- ・がんばれがたくさんかいてあった。
- ・木の立体が良かったです。色のぬり方がすごい良かったです。自分の作った作品が上手につくれました。
- ・すごくきれいでした。
- ・みんなの言葉が伝わって良かったです。
- ・ピースフルリーフを見たとき色んな人が書いていることがすごいと思った。
- ・葉っぱのメモがいっぱいです。とてもきれいです。
- ・数が多すぎて、自分のものがどれかわかりませんでした。
- ・いろんなメッセージがあってすごくきれいでした。

- ・みんなの思いが伝わった。
- ・みんなのやつがキレイにかけてすごかった。
- ・みんなの思いがたくさんありました。
- ・字がきれいだった。
- ・各学校のちがう思いが何十とある葉っぱから「みんなこう思っているんだな」って思えました。
- ・いろんな人の思いがたくさんあったのですごかったです。
- ・色々な中学の中に自分たちの作品があって良かった。
- ・めちゃうちゃかみがあってすごかった。
- ・少数ながら校外学習に4人でいけたので、楽しかったです。
- ・たくさんの良い言葉ときれいな花がいっぱいあってきれいでよかったと思いました。
- ・すごく勇気のでる作品だと思う。
- ・さんかしていないよお～
- ・色々な人たちが書いた言葉一つ一つに力がわいてくるような気がする。
- ・色々な人が応援の言葉などを書いていて。自分も頑張ろうと思いました。
- ・すごいところにひびくいい言葉だった。
- ・はっぱのさくひんがとてもよかったと思います。とくにきらきらしているのがよかったです。
- ・おしキャラをかいた。
- ・新巽中学校のかぼちゃがすごかった。
- ・平和へのメッセージがいいと思いました。
- ・自分たちが書いたやつもあったし、めちゃうちゃキレイにかざれていあたとこ。
- ・みんながいいことをかいていてみんなのことをした。
- ・「塵も積もれば山となる」のように一つの希望がまたその人たちが願った希望が集まったとても素晴らしいことがつまっているように見えました。
- ・自分のやつがよかった。

3. お気に入りの作品があれば教えてください。

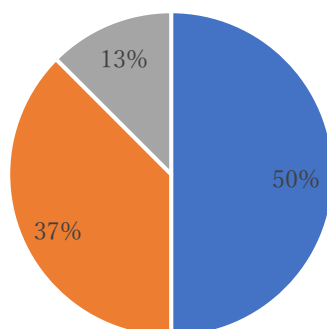
この項目については、他校の作品や自校の作品を挙げて、一生懸命感想を書いてくれました。他校のものを見て作ってみたいと意欲を示したり、尊敬の思いを書いたりしている生徒もいました。アンケートを書くという学習が経験できました。

【一般（8名分）】

＊一般の来館は72名でしたが、アンケートを書ける状況にない方が多く、8名にとどまりました。

所属に○をつけてください。

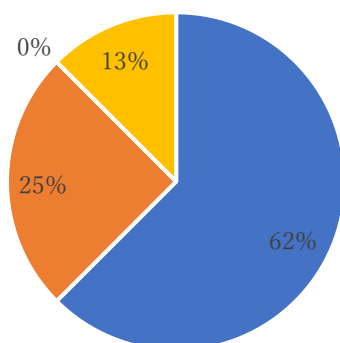
■ 生徒の保護者 ■ 一般の方 ■ その他



実は来館者は保護者の方々だけでなく。施設利用者の方々、アミティ舞洲の職員のみなさまがたくさん足を運んでくださいました。ご支援、ご後援いただいた関係諸機関のみなさまも来てくださいました。土日にも関わらず、学校事務の職員の方々や特別支援学校の先生方、特別支援学級の先生方も来てくださっていました。「作品を見てとても感動しました。」「作品から力をもらいました。」「日頃の先生方のご指導によりこんなに素晴らしい作品が作れるんですね。」など、たくさんの温かいお言葉をいただきました。ありがとうございました。

生徒作品展をどのように知られましたか？

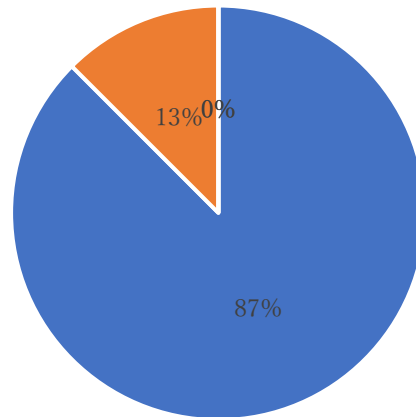
■ 学校から ■ 保護者または地域の方から ■ 通りすがり ■ 未記入



学校で周知徹底することだけでなく、地域の掲示板にもチラシを掲示するなどの努力も必要だと感じました。各学校のホームページや研究部のホームページにもチラシを掲載できたらよかったと反省しています。また、特別支援学校や高等支援学校、地域の小学校からも来館していただけるよう宣伝していこうと思いました。

1. 生徒の展示作品はいかがでしたか？

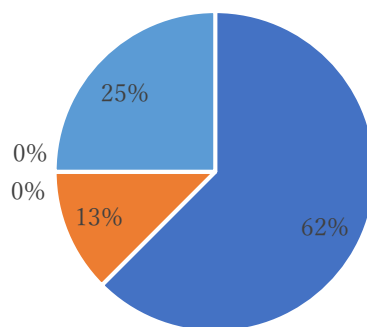
■ とてもよかった ■ よかった ■ おおむねよかった ■ よくなかった



- ・楽しく見ることができました。
- ・みんな、スゴく上手に作っていた。
- ・色がとてもやさしくてきれいでした。
- ・みなさん、丁寧に作品を作成されていて感服しました。
- ・どの作品も個性的で楽しかったり、上手だったり良い作品ばかりでした。
- ・まねして観覧車を作ってみたいと思った。
- ・羊毛で作ったマスコットが可愛らしくて良かったです。全作品見応えがあり、楽しかったです。
- ・綿棒にこういう使い方ができるんだと知りました。自分の身の回りでも何か工夫してみようかと思いました。

2. 合同モニュメントはいかがでしたか？

■ とてもよかった ■ よかった ■ おおむねよかった ■ よくなかった ■ 未記入



- ・一言一言に子ども達の思いがあるんだなぁ～と考えながら読ませていただきました。

D. 最後に

「会場が遠い」、「行きにくい」という声をいただく一方で見学に来られた学校の先生方からは「展示見学もして施設利用もできるから生徒たちがとても喜んでいた」「ボーリングができてとても楽しかった」という声もありました。インクルーシブ教育推進室が淡路になったということもあって、市役所玄関ロビーからアミティ舞洲に変更しました。私たち主催者会としては、特別支援学級在籍生徒が社会に出たら、スポーツをし続けられる施設を紹介し、生涯スポーツに視点を向けてもらいたいという気持ちがありました。ふれあいデイキャンプでもお世話になっていることもあり、広く活用したいという考えがあったから、アミティ舞洲にしました。費用がかからないという点も決定に大きく影響しました。

実際に会場に来た生徒たちが「電車に乗れて楽しかったです。」「初めてボーリングしました。」と言っていました。引率に来られる先生方や保護者は遠くて大変苦労されたと思いますが、生徒たちにとっては公共交通機関を利用して、遠出しただけでもとてもいい経験になったようです。

自立活動について、アンケートにたくさんのアイデアや取り組み内容だけでなく、悩んでいることや聞きたいことが書かれていました。保護者や生徒の要望を元に授業を計画すると、学校で取り組めることは限られており、特に時間がないという課題を抱えている学校が多いと感じました。生徒作品展を通して、作品から参考になればと研究部のホームページに作品を掲載しました。（記名があるものは掲載しておりません。）作品を見るだけでもきっと今後の活動に生かせられると考えています。

第61回もアミティ舞洲で実施する予定です。技能教科で作った作品でも、日ごろ何気なく廃棄する紙の裏に描いた絵でも結構です。作品を作るぞ！と意気込まなくても日常にある生徒たちの作品を工夫して展示できたらと考えています。また、合同モニュメントもご意見を参考にテーマを考えていきたいと思います。難しく考えずに特別支援学級在籍生徒の作品がスポットライトを浴びられるようにご参加いただけたら幸いです。

タイトな期限にもかかわらず書類のご提出にご協力いただき、また、準備や片付け、作品展へのご参加にご尽力いただき、ありがとうございました。第61回も引き続きよろしくお願いいたします。

＊作品の一部を掲載しました。研究部のホームページにも掲載しています。ぜひ、ご覧ください。

<文責 大阪市立田辺中学校 生徒作品展主催者長 千原 早紀>





